

『地域公共交通計画の構成』

第1章 策定の背景と位置付け
 ・ 策定背景
 ・ 計画の位置付け ・ 上位・関連計画等の整理

第2章 所沢市の概況
 ・ 地勢・土地利用、社会状況

第3章 地域公共交通の状況と利用実態
 ・ 地域公共交通の状況
 ・ 地域公共交通の利用実態

第4章 現状・問題のまとめと課題の設定
 ・ 問題整理と地域公共交通の3つの課題

第5章 所沢市地域公共交通計画
 ・ 地域公共交通将来像
 ・ 基本理念、基本方針、計画期間、目標設定
 ・ 施策の体系、スケジュール ・ 評価指標、評価方法

第6章 用語解説 策定過程

『基本理念と基本方針』

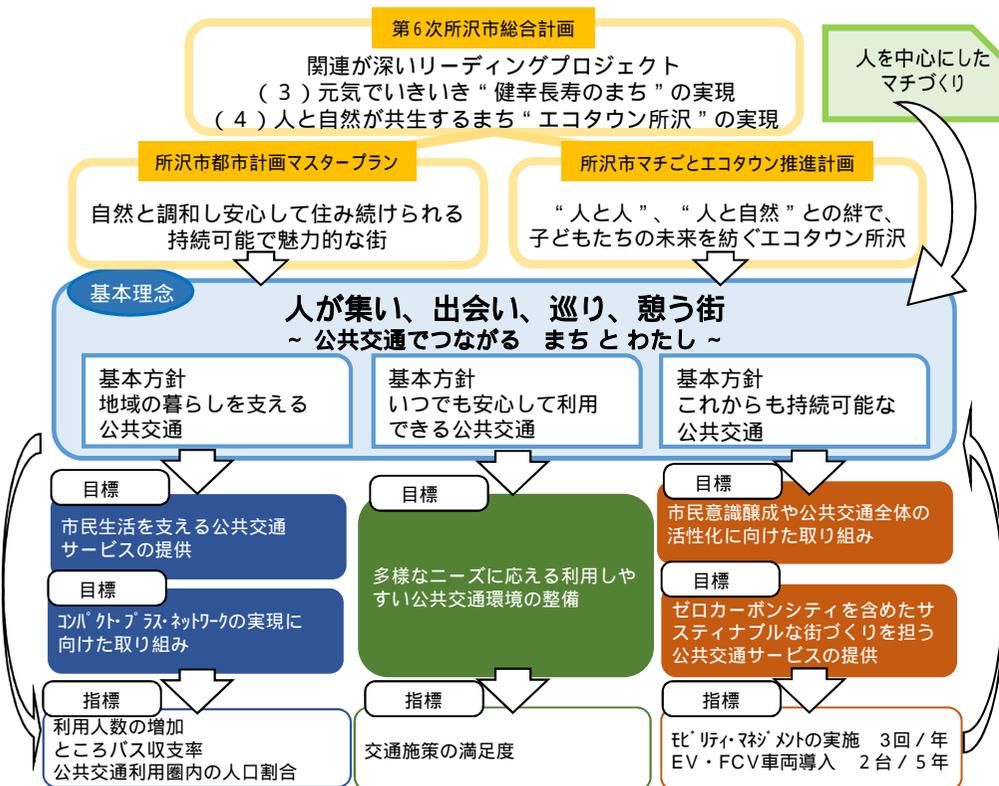
“人が集い、出会い、巡り、憩うことができる場所で、人を中心にした営みが、街を作り未来に伝わっていく、そして、多様な場面において公共交通が人と街をつなぐ存在であり、これからもそうあるように。”という想いを込めた基本理念を掲げ、基本方針から目標を設定します。また、目標に向けた施策の取り組みはPDCAサイクルで評価していきます。

『目標達成に向けて取り組む施策』

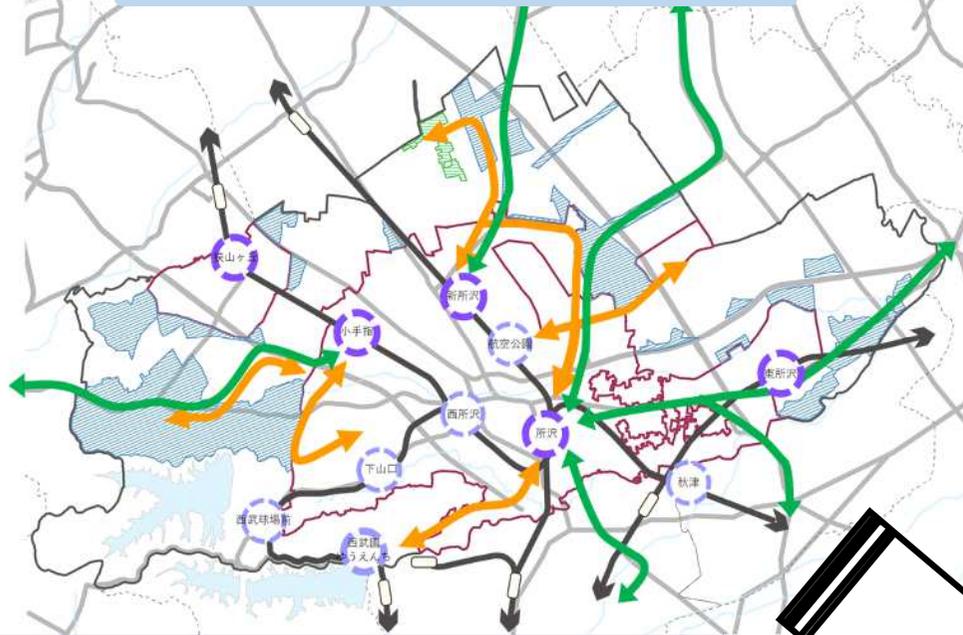
目標達成に向けて取り組む施策を打ち出しました。

所沢市地域公共交通計画の基本理念

人が集い、出会い、巡り、憩う街
 ~ 公共交通でつながる まちとわたし ~



地域公共交通の位置付けと役割（現状）



既存の公共交通網

- ↔ : 鉄道
- ↔ : 市外と結ぶ主要な路線バス
- ↔ : 市内の住宅地を結ぶ路線バス
- : 集落介在地
- : 生活圏の拠点となる鉄道駅
- : その他の鉄道駅
- : 大規模住宅地

既存の公共交通網

- ↔ : 鉄道
- ↔ : 市外と結ぶ主要な路線バス
- ↔ : 市内の住宅地を結ぶ路線バス
- : 生活圏の拠点となる鉄道駅
- : その他の鉄道駅
- : ところバス、ところワゴン

凡例～将来像に向けた公共交通の取組み～

- : 主要な軸となり得る道路
- : 隣接自治体との協働運行
- 🚲 : 自転車移動と公共交通の連携推進エリア
- ⚡ : 鉄道延伸構想
- ⬭ : 移動手段のあり方を考えるエリア
- 🏠 : 駅周辺の街づくり・新しい街との連携
- 🏠 : 資源周辺の様々な移動手段の検討エリア

将来像に描いた取り組み

- 現在の西武バス路線の存続
- ところバス・ワゴンの展開
- 市内すべての公共交通の相互連携
- 近隣市町との連携
- 郊外の交通空白地域の移動手段のあり方検討（公共交通、地域の力、タクシーなど）
- 街づくりや観光資源との連携 など

目標達成に向けて施策に取り組み、目指す将来像

